

## 富山市定例市長記者会見（令和2年12月1日）

### ■冒頭

市長

12月に入り、今日から議会が始まりました。ただでさえ気忙しく感じる12月ですが、会期も長いので、しっかり緊張感を持ちながら充実した時間にしていきたいと思います。いよいよ新年、年が変わるのが視野に入ってきましたので、私の任期ももうすぐだなと最近毎日思っています。決してやり残したことがないように、しっかりやっていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

本日報告することは、1件です。

### ■富山市キャッシュレス決済ポイント還元事業について

市長

富山市キャッシュレス決済ポイント還元事業について、概要がまとまり、具体的に決まりましたので、ご報告します。

これは、他の自治体では既に始まっているところもあります。国の交付金を財源にしながら、例えば南砺市では20%ではなく30%還元という事業をやっていらっしゃいましたが、どの方法が一番良いとは必ずしも言えませんので、それぞれの自治体で対応は別れていくのだろうと思っています。

富山市では、スマートフォンを利用したキャッシュレス決済利用者に対し、非接触型の買い物を普及していくという狙いも込めて、還元率の高いポイントを付与する「富山市キャッシュレス決済ポイント還元事業」を実施します。

消費者の皆さんにポイントを取得してもらうことで、落ち込んだ消費の

喚起を促すことが一番のねらいです。加えて、非接触型決済の普及も目的の一つとしています。

実施期間は、令和3年1月5日から31日までの約1か月間とし、ポイント付与の対象となるキャッシュレス決済事業者はP a y P a yであります。

この期間に市内での買い物や飲食の際に、P a y P a yでお支払いされますと最大20%のポイントを付与いたします。ただし、決済1回あたりの付与上限は1,000円相当で、キャンペーン期間中の上限は5,000円相当となります。また、大手企業や全国展開するフランチャイズ店など一部店舗を除きます。できれば地元の事業者の売上に繋げていきたいという狙いで、大手のコンビニエンスストアなどは対象外となります。大手企業、上場企業につきましては、ご遠慮していただくということです。

対象となる店舗情報は、今後開設予定のホームページで、随時、お知らせしてまいります。また、対象店舗にはポスターも掲示してまいります。

なお、還元ポイントとして3億5千万円分を用意しており、全て利用されますと経済効果は、17億5千万円以上となるものであります。

このキャンペーンの実施にあたり、テレビCMや新聞広告などでPRを行い、事業に参加いただけるお店を広く募集するとともに、市内外の多くの方々に利用いただき、消費活性化の一助となることを期待しております。おそらく3億5千万円分は到達するだろうと思っています。

---

## ■ 質疑応答

記者

第3波と言える新型コロナウイルスへの感染が再び広がる中、年末年始に向け、講じる対策や市民に呼び掛けたいことをお聞きします。

市長

現在、東京都で新型コロナウイルスの新規感染者が1日で500名、また北海道でも200名を超える日があるなど、全国各地において感染拡大の第3波の状況にあるということは間違いないと思います。

富山市内の状況においても、11月中旬以降、感染者の増加が顕著になってきております。昨日までのここ2週間の市内新規感染者は20件と、改めて感染拡大への警戒の意識を高める必要があるのではないかと考えております。

また、県内の医療提供体制は、県が策定した「新たな流行を踏まえた確保病床計画」に基づきますと、現在の感染状況においては「フェーズ2」の段階にあり、感染者の入院病床は県全体134床が用意され、またその内、重症者用としては12床が確保されている状況となっておりますが、現時点（11/30時点）では県内の入院患者が18人、重症患者は0人と、数字の上では、余裕のある状態となっております。また宿泊療養施設についても、県全体で125人分が確保されていますが、現在は3人が使用している状況となっております。

しかしながら、全国的にも感染拡大のスピードが以前より速まる傾向にあるようですので、今後、市内の医療体制がひっ迫しないよう、市民の皆様には、引き続き気を緩めず、感染防止対策へのご協力をお願いしたいと考えております。

ご質問の件ですが、これまでも、国の「G o T o トラベル」や「G o T o E a t」キャンペーンにより、都道府県をまたいでの移動や、外で会食をする機会が増えてきたことに加え、年末年始は、さらに帰省等で富山へお越しになる方が多くなることが予想されます。さらに、年明けには成人式も控えており、久しぶりのご家族やご友人との再会を楽しみにしている方も多くいらっしゃると思います。そこで、今一度、市民の皆様にご注意を喚起したいと思います。

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言では、新型コロナウイルス感染症は、「飲酒を伴う懇親会」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、

「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」、「居場所の切り替わり」の5つの場面で感染リスクが高まると言われております。

一方、こうした感染リスクを少しでも下げ、かつ会食等を楽しむ工夫として、「少人数・短時間」、「適度な酒量」、「席の配置は斜め向かいに」、「会話するときはマスク着用」、「体調が悪い人は参加しない」なども挙げられております。

菅総理もこのようなことを実施しますとおっしゃったということをニュースで見ましたが、これを完全にやるということは、実際の生活においてなかなか簡単ではないと思います。しかし、政府の分科会ではこのように示されていますし、感染防止に効果があると示されていますので、こうしたことを念頭に置き、市民の皆様一人ひとりがそれぞれ自律的な行動をとっていただきたいと思います。

なお、市では、例年、年末年始に様々な行事、イベントなどを実施しているところですが、消防局の歳末警戒は例年どおりに行います。市公設地方卸売市場の初セリなどにつきましても、十分な感染防止対策を施した上で実施してまいります。

一方で、消防出初式につきましても、一般参観者の感染防止対策を講じることが困難だと思われることから、分列行進、消防演技及び一斉放水などを中止します。海上出初式につきましても、船艇航進、救助演技及び一斉放水等を中止し、両出初式とも式典のみを開催することとしました。

消防団の皆様方は、ある意味、消防の文化をお持ちになっているので、寂しいとお感じになることもあるかと思いますが、分列行進等を実施すると一般の方がたくさん見にいच्छやることとなりますので、(感染拡大防止の観点から)やはり今回は実施しないこととなります。

また、「とやマスノーピアード」の行事の1つに「とやま左義長まつり」がありますが、これも一般参加者が多く集まり、十分な対策を講じることが困難であるとされ、今年度は中止されることになっております。正月飾りなどの縁起物につきましても、市内の指定された神社へ納めていただくなどの対応をお願いいたします。対象となる神社は、広報とやま 12月20

日号に掲載する予定でございます。

なお、例年、執り行っている執務納め式については、実施せず、私からのメッセージを職員掲示板において掲載することとします。また、執務始め式については、規模を縮小し、出席の対象を部局長及び部局次長として、挙行することとします。これは、例年（執務始め式と）同時に永年勤続表彰や特別表彰を行っておりますので、表彰は行うべきだろうという考えから行うこととしたものですが、職員表彰式についても、代表受領者のみの出席とします。

加えて、年末年始に集中しがちな人の移動を分散させる等の密を避ける取り組みとして、年末年始の休日、令和2年12月29日から令和3年1月3日の前後を含めた連続した休暇の取得を促進するよう昨日の部局長会議において周知したところです。

---

#### 記者

全国高校スキー大会、いわゆるスキーインターハイの事でお聞きします。2024年の開催について、全国高体連から開催の打診が富山県にあったことについて、富山市が難色を示されたとお聞きしています。スキーインターハイは、これまで一県単独での開催が基本だと思うのですが、富山市で受け入れが出来ないと、例えば分県方式でジャンプ競技は長野ですとか、もしくは開催そのものが危ぶまれるという可能性もあります。今回、富山市として受け入れが難しいことの理由を示すという意味で、今後のスキーインターハイや国体競技のジャンプ競技は一切難しいというスタンスなのかを教えてください。

#### 市長

私の個人的な意見として申し上げます。市として検討して方針が出ているわけではありませんが、去年の国体の時にも同じようなやり取りがありました。南砺市はどうしてもやりたい、県もやりたいと。だけど私は雪がなかったらどうするんだと（いう意見でした）。2000年国体の時も雪を運

んできて開催しました。

もうスキー競技をやる状況ではないというのが個人的な見解です。国体なりインターハイなりを開催するとしたら、アイススケートも一緒に出来るようなところを選んで開催されればいいのであって、富山県は（スキー競技ができる）南限を乗り越している印象を持っているわけです。前回の国体の時は、結果的にぎりぎりに雪が降ったのですが、やはり雪を運んで開催しました。年々その傾向が強くなっている中で、2024年によく手を挙げようとするものだなというのが個人的な印象です。

だから、私の考えを付度して、担当者レベルで、難しいのではないかという考え方が述べられたのではないかと思います。（この件について）先程、説明を受けました。そして、もう一度否定的な回答をしてほしいと言っておきました。市長が変わったら相談し直せばいいのではないかと思います。申し込みの期限等があるのだと思いますし、今職員から聞いただけなので、もう少しスキー連盟の本気度みたいなものを伝えてきてくれたらと思います。

でも、（開催するには）本当に極めて危険性が高いと思います。去年、一昨年と2年続けてほとんど雪が降っていないんです。（雪が降るか降らないかは）分かりませんが、少なくとも新潟や長野からダンプで雪を運んでスキー競技をすることについては反対です。

記者

富山市長選の選考方法をめぐって、自民党富山市連の支部長幹事長会議がありました。中身としては、まだ一本化出来てはいないというのが実情だったのですが、12月に入ったということで、現時点で候補が一本化出来てはいない実情について率直な受け止めに教えてください。

市長

それは自民党の問題で、私がコメントをする問題ではありません。

記者

以前、「あまりにも出てこないようだったら、私の方から指名しても」とお話もあったかと思うのですが、その点について教えてください。

市長

それはある意味、背中を押すつもりで発言しましたが、中々具体的な動きが出ていないというのが現状だと思います。自民党は7つの支部がありますが、その7つの支部をまとめる上位組織が無いので、難しいことになっているのだと思います。

私が何回かやってきた選挙については、富山市連に推薦をお願いして、その他の婦中とか大沢野にもその後推薦していただくというかたちなんです。今は7つの支部で集まって誰か候補者を作ろうという時に、富山市連が決めたから7つの支部がまとまることでもないし、八尾支部が決めたから7つの支部の結論というわけでもないし、当事者の皆さんは非常に難しいだろうと推測しています。ただし、ここでこうしなさいとか、こういうのはどうだとか言う立場ではないので。まだ12月に入ったばかりだからだと思いますけど。

---

記者

センサーネットワークの実証実験について2年目になり、これまでの成果や見えてきた課題について教えてください。

市長

1つは、コロナの問題で大きく思惑が外れました。その前も計測していたわけですが、3月21日に（路面電車が）南北接続したことによって、その効果、人の流れがどう変化してきたかということが非常に大きなターゲットだったので、今もデータを取っています。富山大学も一緒に、あるいは民間企業も含めてやっていらっしゃるんですが、成果としてはおそらく年度末までにはその変化についてのご報告を頂けるものと思います。

思惑が外れたというのは、果たして劇的な変化と言える現象が起きているかどうかということについて心配をしていますが、肌感覚で言うと、少

しずつ路面電車の利用者が増えてきたような気がしますので、公共交通の中におけるコロナ対策にしっかり対応していただきながら、是非、利用してもらいたいと思います。

雪が降るか降らないかは別として、これから寒い季節なので、高校生や大学生、自転車通学だった人たちも、路面電車にシフトすることが起きてくると思いますので、そういったことについてセンサーネットワークの一つの大きな成果といえるようなデータが出ればと思っています。

もう一つの課題は、例えば（河川の）上流部に雨量計を置いて、雨量と河川の水位の関係性みたいなものもデータとして作りたいと思っているのですが、その電源を取れるかどうかは課題です。センサーネットワークは98.9%網羅していますが、中山間地の農地などで、電源が必ずしも容易に取れないところがあるので、面としての整備をしようとする、そのあたりの難しさがあると思います。

また、センサーネットワークだけでは不十分なので、更なるネットワーク、5Gとまでいかなくとも、5Gの時代を見据えたことをやっていかないと、LPWA（省電力広域エリア無線通信）では動画が送れないので、市の公用車にカメラを付けて道路の既存状態などを絶えず送るというようなことをやろうとすると、無理だということがあります。それは最初から分かったうえで、データ収集だということやってきたわけですが、これも課題の一つです。

加えて、民間の方がいろいろと今年度も（実証実験でセンサーネットワークを）お使いになっているものについて、成果をご報告いただければ、相互にそのデータを活用していくルール作りみたいなことを今後の課題としてやっていく必要があるのだらうと思います。無償でお貸ししたのだから、取られたデータは無償で市にいただくとか、他のデータと一緒にあって解析していくということです。

その際に、富山大学の齋藤学長が盛んに言っていらっしゃるようなデータサイエンティストが不足していると、そのあたりについてのスキルをどう上げていくかということも課題だと思います。

---

※ 発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課